— CASE STUDY —

iPhone+PHONE APPLI PEOPLE（旧：連絡とれるくん）で働き方改革 わずか1カ月半でスピード導入に成功

ミツカングループ

業種	食料品
従業員数	約3,510名
ご担当者	ミツカンパートナーズ 管理本部 情報システム部 部長 末續肇氏 ミツカンパートナーズ 管理本部 情報システム部 インフラ課 課長 田平浩樹氏 ミツカンパートナーズ 管理本部 情報システム部 インフラ課 薗田宏一朗氏

課題・背景	→	効果
全対象社員スマートフォン化の推進		わずか1ヵ月ほどで、データ移行を完了
以前は、「電話番号の検索と管理のみ」のシステムを利用		「電話番号の検索・管理」だけでなく、「発信」も可能に
コロナ禍におけるテレワークの増加		「発信者表示」で社員間のコミュニケーションが円滑に

2020年2月に、社員が使用するモバイル端末を携帯電話からiPhoneに移行したミツカングループ。働き方改革の取り組みの一環として推し進めたこの“全対象社員スマートフォン化”は、2019年12月中旬に導入を決定してからわずか1ヵ月半で成し遂げられた。

その背景には、iPhoneを提供するソフトバンクと、同時に導入したコミュニケーションポータル「PHONE APPLI PEOPLE」(旧:連絡とれるくん)との連携の良さがあった。

電話帳データの大量移行もスムーズに

アドレス帳データを、デバイス内ではなくクラウド上で一括管理するのが、PHONE APPLI PEOPLEの基本構造だ。そこで、携帯電話内に保存されていたデータを、PHONE APPLI PEOPLEをインストールしたAndroid端末に赤外線通信でいったん移し(iPhoneでは、直接赤外線通信でデータを受け取れないため)、クラウド上に保存。あとは、iPhoneでPHONE APPLI PEOPLEを使用すれば、そのアドレス帳データがそのまま使えるようになる。

ミツカンはこの方法で短期間にデータ移行に成功。グループ全社で1700台のiPhoneを導入したが、実際、1ヵ月ほどでこの移行作業が完了したという。

コロナ禍のテレワークで威力発揮

ミツカングループではそれまで管理職のみにスマートフォンを配布していたが、今回、全対象社員にiPhoneを行き渡らせ、2020年2月からPHONE APPLI PEOPLEで互いの電話番号を調べて連絡を取り合う体制に移行。連絡先データの管理も、集中管理にやり方を変更した。

会議や打ち合わせの多くもWeb会議ツールのZoomをiPhoneで行うかたちとなったが、「そうした働き方のなかでもPHONE APPLI PEOPLEにより、連絡は円滑にできた。コロナ禍でも、それ以前と同じように業務ができたことは大きな効果だ」という。

特に、以前の環境と大きく異なるのが着信時の「発信者表示」だ。従来は、携帯電話のアドレス帳に番号が登録されていない限り、社内からの電話ですら発信元がわからなかった。2月以降はそれが見える化され、テレワークで働く場所が分散している分、社員同士のコミュニケーションにおいて大きな役割を果たしているという。

また、電話をかける際にも「手軽に番号を探して、そのままかけられる」点を評価している。以前も連絡先を調べる社内システムはあったが、電話番号を管理・検索できるだけで、そこから直接電話をかけることはできなかった。PHONE APPLI PEOPLEならば、検索したあとにそのまま発信できるので効率が上がる。

Web 電話帳クラウドサービス

PHONE APPLI PEOPLE (旧:連絡とれるくん)

人の価値を高め、生産性を向上させる“人”中心のクラウドサービスです。
キーワードやスキルで社内の専門家を、名刺データからお客様を簡単に探しだし、最適なコミュニケーション(チャット、メール、電話、Web会議)がとれ、コラボレーションを活性化させます。大手企業を中心に150万ライセンス活用されています。

Web電話帳クラウドサービス
7年連続国内市場シェア
No.1※

※出典:MM総研「Web 統合電話帳アプリケーションの市場規模調査」(2020年7月)

フォンアプリ | https://phoneappli.net/product/service/papeople/